

研究課題名	南大阪介護医療（SOHA：Southern Osaka Health and Aging）スタディ
研究の意義・目的	要支援高齢者の要介護認定から 10 年間ならびに死亡に至るまでの機能低下の推移と医療・介護サービスの利用状況を明らかにし，死亡や機能低下に関連する要因を調べます。研究成果により，要支援高齢者の長期的な経過を明確にでき，新たな介護予防のあり方を提言します。
研究期間	倫理委員会承認後～2023 年 3 月 31 日
研究対象者の範囲	2012 年度に新規に要支援認定された第 1 号被保険者
利用する情報	要介護認定情報，介護給付ならびに診療報酬に関するデータ
研究機関の情報	<p>【研究機関】 公立大学法人 大阪市立大学大学院看護学研究科在宅看護学領域</p> <p>【協力機関】 和泉市，泉大津市，岬町 大阪府後期高齢者広域医療連合 大阪府国民健康保険団体連合会</p>
研究成果を公表する方法	研究成果については，学会等にて発表します。
情報の提供方法	個人を識別できないように匿名化した情報を提供します。 個人を識別できないように分析は統計的処理を行います。
情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	公立大学法人 大阪市立大学大学院看護学研究科在宅看護学領域 教授 河野あゆみ